

令和4年度 第1回通常総会 議事録

1. 日 時 令和4年6月7日(火) 13時00分～14時30分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷
対面会議・WEB会議(ZOOMシステム)の併用
3. 会員総数 115名
4. 出席会員 出席者 79名(会場出席 24名 WEB出席 55名)
出席者委任 24名 議長委任 12名
5. 出席した理事 会 長 井上 圭三(議長兼議事録作成者)
副 会 長 楠 文代
常務理事 中村 明弘 浜岡 純治
加留部 善晴
理 事 亀井 美和子 元木 和幸
田中 芳夫 佐川 賢一
越前 宏俊 岩城 正宏
津田 裕子 篠塚 和正
6. 出席した監事 富田 基郎 市川 厚
7. 出席した参与 乾 賢一 本間 浩
8. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定により井上会長が議長に就任し、会員現在数115名に対し、本日の出席会員が115名となり、定款に定める定足数を満たしており、本総会が有効に成立していることが宣言された。

また、議事録署名人として出席理事から楠 副会長、元木理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録(令和3年度第2回通常総会:令和3年11月30日開催)について、これを全会一致で承認した。

(2) 役員の改選に伴う理事候補者等(理事及び監事)の選任について

井上会長から、資料3に基づき、理事候補者(16名)及び監事予定者(2名)について説明があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

なお、被選任者(欠席の杉林堅次氏を除く。)は、席上その就任を承諾した。

理 事 16名

東ブロック 8名

城西大学

常務理事

杉林 堅次

帝京平成大学

薬学部長

亀井 美和子

昭和大学

薬学部長

中村 明弘

昭和薬科大学	理事長	元木 和幸
帝京大学	理事・副学長	井上 圭三
東京薬科大学	理事長	楠 文代
東邦大学	副学長・薬学部長	田中 芳夫
明治薬科大学	学長	越前 宏俊
西ブロック 8名		
愛知学院大学	理事・学長	引田 弘道
名城大学	薬学部長	神野 透人
京都薬科大学	学長	赤路 健一
大阪医科薬科大学	理事長補佐・ 副理事長	浜岡 純治
近畿大学	薬学部長	岩城 正宏
神戸学院大学	理事・学長	中村 恵
神戸薬科大学	学長	北川 裕之
福岡大学	常務理事・副学長	加留部 善晴

監 事 2名

富田 基郎	昭和大学	名誉教授
市川 厚	武庫川女子大学	名誉教授

任 期

令和4年6月7日から令和6年6月第1回通常総会終了まで

(3) 令和3年度事業報告(案)について

小池事務局長から、資料4「令和3年度事業報告書(案)」に基づき説明があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

(4) 令和3年度決算(案)及び監査報告について

小池事務局長から、資料5に基づき令和3年度収支計算書(案)等関係書類の説明及び富田監事から監事監査結果の報告があり、協議の結果、これを全会一致で承認した。

なお、本決算案の中で、文部科学省委託費「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」に係る令和3年度の協会負担分(会議開催経費及び「最終報告書」の発行経費等)は、約2,775千円となった旨報告があり、これを承認した。

(5) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するために必要な薬剤師の在り方等について（協力依頼）

井上会長から、資料6に基づき、「ワクチン接種の打ち手を確保する観点等から、特例とは言え、薬剤師によるワクチン接種を実現するためには、6年制薬学教育における臨床準備教育の一環として、出来る限り多くの大学において、シミュレーターなどを用いて注射の手技に関する実習を取り入れることが望ましい。」との結論を得た旨説明があり、本趣旨について、各大学へ協力依頼したことが報告された。

なお、これに関連し、本間参与から、薬学教育協議会が実施したアンケート調査の結果について報告があった。

(6) 学生入学定員及び入学者数について

井上会長から、資料7に基づき令和4年度私立薬科大学（薬学部）入学定員及び入学者数調の報告があった。

また、これに関連して、本協会の「入学定員遵守についての申合せ」については、引き続き申合せを行うこととするが、入学定員の1.1倍以上の入学者を受け入れた大学による入学定員超過理由書の提出については、令和3年11月30日開催の第2回通常総会で了承されたとおり、大学を取り巻く環境等の変化により、入学予定者数を見込むことが極めて難しい状況にあることから、本年度以降、超過理由書の提出を求めないこととして、改めて確認・報告があった。

(7) 令和3年度私立薬科大学（薬学部）実務実習実態調査の調査結果について

小池事務局長から、資料8に基づき私立57大学を対象に実施した薬学実務実習の実態調査（病院、薬局における学生の受け入れ割合、教員の施設訪問回数、実習経費の金額別、学生数等）の報告があった。

(8) 薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、資料9に基づき以下について報告があった。

① 第44回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会

- ・令和3年度第IV期の実務実習に関する現状報告がなされた。
- ・「薬学実務実習に関する連絡会議」が来年の実施期間が終了後、延長されないとするれば、本委員会の役割がこれまで以上に重要になることから、本件への協力依頼を行った。

② 第 65 回理事会

- ・令和 4 年度事業計画に、日本薬剤師研修センターから移管され認定実務実習指導薬剤師の認定業務及び講習会の開催運營業務が追加された。
- ・実務実習指導薬剤師認定の実施に向けた準備委員会を「認定委員会」、薬学教育者ワークショップ実施委員会を「養成研修委員会」にそれぞれ名称変更を行った。

③ 令和 4 年度(第 8 回)薬学教科担当教員中央会議

- ・薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた基本方針、素案等及び今後のスケジュールを説明し、教科担当教員会議に令和 3 年度末に纏められた「薬学教育モデル・コア・カリキュラム (素案)」に対する意見を求めるための協力依頼を行った。

(9) 日本薬学会の報告について

中村常務理事(日本薬学会薬学教育委員会委員長)から、資料 10 に基づき、日本薬学会薬学教育委員会の令和 4 年度事業計画として、①「大学院進学促進事業」の企画・開催、②「大学での教育研究活動をサポートする FD」の企画・開催等について報告があった。

9. その他

(1) 文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」(令和元年度～令和 3 年度)事業の報告について

井上会長から、日本私立薬科大学協会を受託した本委託事業については、本年 3 月末で終了し、「検討結果報告書」として冊子を作成し、関係大学等へ配布した旨報告があった。

また、本間参与(薬学教育協議会代表理事)から、文部科学省の令和 4 年度「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業(薬学教育における質保証に関する調査研究)」については、薬学教育協議会が受託し、令和 3 年度の「検討結果報告書」として取りまとめられた「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂(素案)」をさらに検討して行くこと、薬学教育協議会における検討体制、実施方法等について報告があった。

(2) 改選に伴う役員等の選任について

小池事務局長から、第 77 回理事会において会長、副会長について、下記のとおり決定した旨の報告があった。

また、会長指名により理事 1 名、常務理事、参与及び各種委員会委員等は、

7月5日（火）開催予定の第78回理事会において決定し、各大学へ通知する旨の報告があった。

会 長（代表理事）

帝京大学 理事・副学長 井 上 圭 三

副会長（法人側）

東京薬科大学 理事長 楠 文 代

副会長（大学側）

昭和大学 薬学部長 中 村 明 弘

10. 薬学教育の諸課題について

(1) 文部科学省高等教育局医学教育課 大久保薬学教育専門官から以下のことについて説明があった。

- 新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた薬学教育等
 - ・ 大学等における学生への3回目ワクチン接種実施意向調査の実施結果について
- 薬学系人材養成の在り方に関する調査検討会について
- 薬学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂について
- 薬学教育における質保証について
- 令和4年度薬学教育指導者のためワークショップ（案）について
 - 対 象：学長、学部長等（大学において、薬学教育・教育課程編成に指導的立場にある者）
 - 日 時：令和4年8月26日（金） 場 所：オンライン開催
 - テーマ：「薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）」に基づくカリキュラム実施に向けて（仮）」
- 令和4年度予算について
 - ・ 薬学教育における質保証に関する調査研究
 - 事業期間：最大3年間（令和4年度～6年度）
 - 選定件数：1件 X 1,000万円
- 各種要請等について
 - ・ 薬害防止に関する教育等の充実について
 - ・ B型肝炎に関する教育の充実等について
 - ・ 死因究明等の推進について
 - ・ アレルギー疾患に関する教育の充実について
 - ・ アルコール依存症に関する教育について
 - ・ 「慢性の痛み」に関する教育の充実について
 - ・ 男女共同参画基本計画について

(2) 厚生労働省医薬・生活衛生局 太田薬事企画官から以下のことについて説明があった。

- 「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」に

ついて

(検討内容)

- ・対人業務の充実
 - ・医療安全の確保を前提とした対物業務の効率化・高度化
 - ・地域における薬剤師の活用、薬局の機能強化
- 規制改革等について
 - 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の概要（令和4年）について
 - 第107回薬剤師国家試験について
 - 令和4年度予算の概要について

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、14時30分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）がこれに署名捺印する。

令和4年6月17日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長兼議事録作成者 井 上 圭 三
(押印済)

出席理事（議事録署名人） 楠 文 代
(押印済)

出席理事（議事録署名人） 元 木 和 幸
(押印済)